

羅針盤は「憲法」 その指し示す方向にこそ

1945年8月15日
あれから まだ わずか
66年しか経ていないのに

ヒロシマ ナガサキ 3・1ビキニを
知るわたしたちが

2011年3月11日 東北・フクシマゲンパツを
怒りの日として刻印することになろうとは！

被災地の瓦礫に埋もれた小学校の校庭に
東北を愛した農民詩人・宮沢賢治の碑が
崩れずに建っていた

「世界が、ぜんたい
幸福にならないうちは、
個人の幸福はありえない」
(石巻市立大川小学校)

飛び交うウソにも 如何なる手練手管の誤魔化しにも
進むべき方向を見失うまい

見定めるべき方角は
羅針盤「憲法」
その指し示す方向にこそ！

舵を握るのは 主権者・わたしたち！

憲法9条・メッセージ・プロジェクトは 今年も9月中ごろ～1カ月間

アッシュ青年と「平和の種蒔き」キャラバンをします

イラク帰還米兵

「反戦帰還兵の会」メンバー

4度目の

主権者の英知で 賢者の道を拓くとき

日本中が計り知れない哀しみと、いつ晴れるとも知れない怒りを背負った、いま。
ここからが、まさに正念場。これまで以上に五感を研ぎ澄まし、主権者の英知で賢者の道を切り拓いていきましょう。

憲法9条・メッセージ・プロジェクト (K9MP) は、時代を読み解き、未来を語り、明日を知るために、ことしもアメリカのアッシュ・ウールソン (28歳) さんと一緒に、「平和の種蒔き」講演キャラバンをおこないます。このキャラバンは 2008 年からはじめて、これまでに訪ねたのは、沖縄県をはじめ 37 県、大・小織り交ぜた講演会場は 182カ所にのぼります。今回は、次のように計画しています。

◇訪問先 近畿・中国・四国地方を中心に

◇期 間 スタートは、9月18日(日) 滋賀県大津市：仰木の里

～10月14日(金)まで

僕に勇気をくれK9MPといっしょに

みんなのところへ 逢いに行きます

語りあいたい 世界と日本中の平和のこと ともに生きること



平和のリボンを飾り付けるアッシュ



アッシュの活動を伝える

「沖縄タイムス」



PTSDを乗り越えて語るアッシュ

アッシュとK9MP物語

爽やか 陽気な青年芸術家

アメリカ・ウィスコンシン州ラインランダー市生まれ。今春、ウィスコンシン大学(専攻・グラフィックアート)を卒業しました。目下、日本の若者と同じ、厳しい「就活」中です。その傍ら「反戦帰還兵の会」での平和活動に励み、大好きな写真アートなどに打ち込んでいます。陽気で気さくな人柄、友情を大切にする好青年です。家族は妻、幼い娘、息子の3人。

突如、イラクに派兵 傷ついた若い魂は…

アッシュは、大学の学資を得るために「州兵」として働いていました。ところがイラク戦争に突入した政府は、「州兵」にもイラク出兵を命令しました。アッシュにとっては、まったく思ってもみなかったことでした。

それでも自国の戦争は、いつも「正義のため」と信じていたアッシュが。戦場で目にした現実、見境なくくり広げられる殺戮と破壊。過酷な日々は、アッシュの若くて健康な肉体と精神を蝕みました。どうにか無事、帰国したものの、その後は激しい PTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しめられまし

た。

やり場のない苦悩の日々を、アッシュは家族や友人たちに支えられ、励まされながら、自身のあらたな生き方を真

剣に模索。心底、正義と平和を希求するようになりました。

K9MPとの出会い

2008年5月、千葉県幕張で「9条世界会議」がひらかれました。その「世界会議」の成功に向けて日本山妙法寺が、広島～千葉まで2ヶ月半のピース・ウォークに取り組みました。

K9MPとアッシュの最初の出会いは、そのピース・ウォークが京都入りした時でした。

彼はPTSDにさいなまれ、時折、苦渋の表情を見せる口数少ない青年でした。その姿は、戦争がい

かに過酷であったかを、人びとに容易に想像させました。それでもアッシュは行く先々で懸命に戦争と貧困をなくそうと訴え、見事に全行程を歩き通しました。

ゴールの幕張会場で、再びアッシュと合流したK9MPは、あらためて彼に再来日を働きかけました。この時の約束通り、同年8月、アッシュは再び日本へ。K9MPとアッシュの共同の平和講演キャラバンは、こうして始まりました。

行く先々で 広がる草の根の国際交流

アッシュは大変、勉強家です。講演では自身の戦争体験だけでなく、何故、戦争が起こるのか、日本の現状や憲法問題などにも触れ、来日のたびに語る内容は充実し、多くの人々の共感を集めました。

講演後はどこでも必ず、アッシュの周りに老若男女の輪ができ、膝をまじえ、夜を徹して語りあうこともしばしば。そこでは言葉の垣根を越え、心のこもった手づくりの国際交流が広がり、新たな友情と、平和に燃える勇気を育みました。

国を越え、世代を超えた友情 希望を象徴するキャラバン

過酷な戦争体験、その体験を通して心から平和を願うアッシュの話は、何よりも、同世代の若者の心を動かします。

「私にもキャラバンを手伝わせて」「何かできることをしたい」と名乗り出る若者が相次ぎ、去年は、日本の学生をはじめ、中国、韓国の若者まで加わったキャラバンになりました。国境を越え、世代を超えたキャラバン隊は、まさに未来の「希望」をみるようで、新たな感動を広げました。

日本の大災害・原発事故にも心を寄せ

米英軍によるイラク侵略戦争から8年。

帰国後のアッシュは、自国の戦争の歴史をふり返り、懸命に平和に貢献することを願って、活動しています。中東・北アフリカでわき起こっている民主化のうねりにも大きな関心を寄せています。この3月に東日本を襲った大震災、福島原発事故にも注目。日本で知り合った多くの友人たちに思いを馳せ、あんじています。

今こそ、一人でも多くの人びとの胸に、希望の明かりを灯すとき。そのために必要なこと、出来ることに、大いに力を尽くしましょう。

もし私が 私のために行動しないのなら

誰が 私のために行動するのか？
もし私が 私のためにだけ行動するのなら

私は いったい何者か？
そして いま行動しないなら いつするのか？

(テッサ・モーリス・スズキ)

講演会は、どんな場所、規模でも、きっとできます

この機会に、みなさんの地域・職場・学校で
ぜひ、アッシュの講演企画を立ててください！

講演会を計画するにあたって

どんな相談にものります。どうぞ、遠慮なくご相談ください。

いま、K9MPが誇りを持ってお勧めします

日本の有り様を根幹から問う



渾身の二冊!!

← 彫塑 金城 実
エッセイ 柴野徹夫

作 柴野徹夫 →
解説 安齋育郎



「沖縄には、今も日本国憲法はない！」
その叫びと、シマンチュウの叫びを
彫刻とエッセイで綴る

制作：憲法9条・メッセージ・プロジェクト

制作支援費：2000円

被爆国・日本が
世界を震撼させる「原発」の危機
22年前の告発の書

大月書店刊：1冊 1200円

■ “平和の種蒔き”講演キャラバン事務局

〒604-8492 京都市中京区西ノ京右馬寮町501

コスモアベニュー二条通303 いずぶち・ときこ気付

電話：090-8207-8642 FAX：075-811-1774